

全員協議会 会議録（要点筆記）

午後 1時30分 開会

午後 1時52分 閉会

場所 : 全員協議会室

[報告案件]

1 3か年実施計画について

山田宰企画部長：資料に基づき説明

中川健一議員：何点か考え方を教えていただきたいことがあります。1点目は（資料）4ページの政策的経費というのは、過去3年は30億円、43億円、40億円ということですが、この3か年では35億円、60億円、70億円を急激に投資的経費が増えています。一方で3ページの収入の表を見ますと、市税収入は令和2年度は238億円ですが、来年度以降200億円、220億円、227億円と減少傾向にあります。市税収入の減少が見込まれる中で投資的経費が急激に増えていることをどのように考えているのかということ、また、投資的経費が増えている理由について中学校や給食センターの更新などは理解していますが、当市的経費を増やす理由についても考えを教えてください。

山田宰企画部長：今回の3か年実施計画は、新型コロナウイルスへの対応、第7次総合計画の推進、そして老朽化の進む公共施設の適切な更新に視点を置いています。特に十億円規模の大きなものは議員が言われるとおり公共施設の更新等で費用が増大しています。それについては、遅れることなく取り組んでいく、という姿勢で考えをまとめています。

中川健一議員：半田市は過去に公共施設の総合管理計画を策定しています。市税収入の減少に伴い、ある程度は縮減が必要だと考えます。そういった中で一番大きな内容としての公共施設についてどのように縮小、統廃合を行っていくか、は課題ではないかと思いますが、この3か年実施計画では、公共施設の床面積というのは増えるのか、減るのか、どちらでしょうか。

山田宰企画部長：（床面積の）総量としてはほぼ変わりません。

中川健一議員：（資料）52ページと53ページ、53ページの景観形成推進事業について令和3年度が680万円、令和4年度720万円、令和5年度が720万円と非常に金額が少なく、課題ではないかと考えます。例えば岩滑地区ではなかなか進んでいない、亀崎地区では一定程度は進んでいると思いますが建築物の保存などかなり遅れている面もあります。半田市が掲げている、「景観が立派である」という景観重点地区がいつになったらその目標が達成できると考えているのか、また、その中でこの3か年実施計画がどのような割り振りになっているのか、を教えてください。

大山仁志建設部長：景観の形成については（その地域の）住民の方と一緒に協力し合って進めていく必要があります。来年度はその景観計画について地域の方と話し合いをしながら見直しを行っていきたいと考えていますので、その中で将来的な計画についても議論をしていきたいと考えています。

午後 1時52分 閉会